# レボホリナート点滴静注用 25mg「NP」 ~pH 変動試験~

2017年3月 ニプロ株式会社

#### レボホリナート点滴静注用 25mg「NP」の pH 変動試験

#### 1. 試験目的

レボホリナート点滴静注用 25mg「NP」について、本剤に酸又は塩基を添加したときの外観変化、pH を調査する。

#### 2. 試験検体

レボホリナート点滴静注用 25mg「NP」

#### 3. 試験方法

本剤を注射用水 3mL で溶解し、0.1 mol/L 塩酸及び 0.1 mol/L 水酸化ナトリウム液を滴加した。外観変化が認められたときは、その pH(変化点 pH)及び滴加量(mL)を記録した。10 mL の各試液を滴加しても何ら外観変化の見られない場合、その時点の pH を測定し、記録した(最終 pH)。また、測定した変化点 pH 又は最終 pH から移動指数(変化点 pH 又は最終 pH と滴加前 pH の差)を求めた。

### 4. 試験結果

試験結果を表1に示した。

表 1 pH 変動試験結果

2C = P11 9C 37 F 1/3 C	- Bur Schaff and Half										
滴加液	滴加前*1	pH 変動試験**									
	рН	外観変化	移動指数								
0.1 mol/L 塩酸	7. 25	析出	3. 65	0.74	_	3. 60					
0.1 mol/L 水酸化ナトリウム液	7. 25	変化なし	_	10. OmL	12. 99	5. 74					

\*1:n=6の平均値 \*2:n=3の平均値

社内資料

# レボホリナート 点滴静注用「NP」 配合変化試験

2017年2月 ニプロ株式会社

# レボホリナート点滴静注用「NP」他剤との配合変化試験

#### 1. 試験目的

レボホリナート点滴静注用「NP」について、他剤との混合時の配合性を調査する。 (薬剤名・製造販売元は 2017 年 2 月現在)

#### 2. 試験検査品

以下に示す本剤及び配合薬剤を使用した。

#### 1) 本剤

名称	ロット番号	成分名	規格/単位
レボホリナート点滴静注用 25mg「NP」	06S01	レボホリナート	25mg/バイアル
レボホリナート点滴静注用 100mg「NP」	07E02	レボホリナート	100mg/バイアル

#### 2) 配合薬剤(輸液)

No.	配合薬剤名	規格/単位	製造販売元
1	大塚生食注	250mL/袋	大塚製薬工場
2	大塚糖液 5%	250mL/袋	大塚製薬工場
3	フィジオゾール 3 号輸液	500mL/袋	大塚製薬工場
4	フィジオ 35 輸液	250mL/袋	大塚製薬工場
5	ラクテック注	250mL/袋	大塚製薬工場
6	KN3 号輸液	200mL/袋	大塚製薬工場
7	ヴィーンD輸液	200mL/瓶	興和
8	ソルデム 3A 輸液	200mL/袋	テルモ

#### 3) 配合薬剤(注射剤)

No.	配合薬剤名	規格/単位	製造販売元
9	5-FU 注 250mg	250mg/アンプル	協和発酵キリン
10	カンプト点滴静注 40mg	40mg/バイアル	ヤクルト本社
11	エルプラット点滴静注液 100mg	100mg/バイアル	ヤクルト本社

社内資料

2017年2月 ニプロ株式会社

3. 配合方法及び配合液の保存条件

1) 配合方法

① 5-FU 注との配合変化方法

レボホリナート点滴静注用 25mg [NP] に配合薬剤(輸液) 33mL を加えて溶解し、この液 2mL に 5-FU注 7. 5mL を加えて溶解した(配合比率は重量比でレボホリナート: フルオロウラシル=1: 250)。

#### ② カンプト点滴静注との配合変化試験

カンプト点滴静注 1.8mL(36mg)に配合薬剤(輸液)37.5mL を加えて混合した。また、レボホリナート点滴静注用 100 mg [NP]に配合薬剤(輸液)78mL を加えて溶解した。上記方法で調製したカンプト液とレボホリナート液それぞれ 35 mL を量り、混合した(塩酸イリノテカンとして 0.48 mg/mL、レボホリナートとして約 0.64 mg/mL)。

#### ③ エルプラット点滴静注液との配合変化試験

エルプラット点滴静注液 100 mg に 5%ブドウ糖 184 mL を加えて溶解した。また、レボホリナート点滴静注用 100 mg 「NP」に 5%ブドウ糖 100 mL を加えて溶解し、この液 70 mL を量り、5%ブドウ糖液を加えて 100 mL とした。上記方法で調製したエルプラット液とレボホリナート液それぞれ 25 mL を量り、混合した(オキサリプラチンとして 0.27 mg/mL、レボホリナートとして 0.35 mg/mL)。

#### 2) 配合液の保存条件

温度:25℃

湿度:成り行き

その他:室内散乱光(一部遮光)

#### 4. 試験項目、試験検体数及び配合液の採取時間

配合変化試験

試験項目		試験検体数及び採取時間*1					
<b>八次</b>	配合直後	4 時間	8 時間後	24 時間後			
性状(外観)	3	3	3	3			
рН	3	3	3	3			
定量法(残存率)*2							
1-LV (レボホリナート)							
5-FU	3	3	3	3			
CPT-11 (イリノテカン)							
L-OHP(オキサリプラチン)							

<sup>\*1 5-</sup>FU 注については、配合直後と 24 時間後を測定した。

#### 5. 結果

レボホリナート点滴静注用「NP」の配合変化試験結果を次頁以降に示した。

<sup>\*2</sup> 配合直後の含量を100%とし、残存率を算出した。

# 試験結果表

#### 表 1 ①5-FU 注との配合変化試験

Mo	配合薬剤名	保存	試験項目*3		採取時間			
No.		条件			配合直後	24 時間		
	外観		Į	無色澄明	変化なし			
		25℃	рН		8. 49	8. 48		
		散光下	残存率	<i>1</i> –LV	100.0	100.4		
	上层华蚕沙		(%)	5-FU	100. 0	99. 6		
1	大塚生食注		外観		無色澄明	変化なし		
		25℃	рН		8. 48	8. 47		
		遮光下	残存率	<i>1</i> –LV	100. 0	99.8		
			(%)	5-FU	100. 0	99. 6		
			外額	Į	無色澄明	変化なし		
		25℃	рН		8. 49	8.46		
		散光下	残存率	<i>1</i> –LV	100. 0	100.6		
n	十字集法 [0/		(%)	5-FU	100. 0	99. 6		
2	大塚糖液 5%		外額	l	無色澄明	変化なし		
		25℃	рН		8. 49	8. 47		
		遮光下	残存率	<i>1</i> –LV	100. 0	100.6		
			(%)	5-FU	100. 0	99. 7		
			外観		無色澄明	変化なし		
。フ	フィジオゾー	25℃ 散光下	На		8. 49	8.48		
3	ル3号輸液		残存率	<i>1</i> –LV	100. 0	100. 0		
			(%)	5-FU	100. 0	100. 3		
			外翻	1	無色澄明	変化なし		
4	フィジオ 35	25℃	рН		8. 47	8. 48		
4	輸液	散光下	残存率	<i>1</i> –LV	100. 0	100.6		
			(%)	5-FU	100. 0	100. 0		
			外翻	1	無色澄明	変化なし		
_	ニカニュカ沖	25℃	рН		8. 48	8. 49		
5	ラクテック注	散光下	残存率	<i>1</i> –LV	100. 0	100. 0		
			(%)	5-FU	100. 0	100.0		
			外額	Į	無色澄明	変化なし		
6	KN3 号輸液	25℃	рН		8. 50	8.48		
U	17100 万 押削が入	散光下	残存率	<i>1</i> –LV	100. 0	100. 2		
			(%)	5-FU	100. 0	100. 4		
			外額	Į	無色澄明	変化なし		
7	ヴィーン D	25℃	рН		8. 48	8.46		
'	輸液	散光下	残存率	1-LV	100. 0	100.0		
			(%)	5-FU	100.0	99.8		
			外額	[	無色澄明	変化なし		
Q	ソルデム 3A	25℃	рН		8. 48	8. 47		
8	輸液	散光下	残存率	<i>1</i> -LV	100. 0	100. 2		
			(%)	5-FU	100.0	100.1		

<sup>\*3</sup> 試験項目のうち、pH、残存率は3検体の平均値を記載した。

表 2 ②カンプト点滴静注との配合変化試験

NT.	三人 本 文 [ 女	保存	試験項目*3		採取時間			
No.	配合薬剤名	条件			配合直後	4 時間	8 時間	24 時間
			外観		微黄色澄明	変化なし	変更なし	変化なし
4	七层生蚕汁	25℃	рН		5. 82	5. 66	5. 66	5. 64
1	大塚生食注	散光下	残存率	<i>1</i> –LV	100.0	100. 2	99.8	98.8
			(%)	CPT-11	100.0	100. 3	100.0	96.8
			外観		微黄色澄明	変化なし	変化なし	変化なし
2	→ 4字/(本)/左 F 0/	25℃	рН		5. 87	5. 76	5. 72	5. 76
2	大塚糖液 5%	散光下	残存率	<i>1</i> –LV	100.0	100. 2	100. 2	99. 0
			(%)	CPT-11	100.0	100. 0	99. 6	95. 9
			外種	規	微黄色澄明	変化なし	変化なし	変化なし
0	フィジオゾー	25℃	рН	[	4. 79	4. 79	4. 77	4. 79
3	ル3号輸液	散光下	残存率	<i>1</i> -LV	100.0	98. 9	98. 4	95.8
	- 5 187124		(%)	CPT-11	100.0	100. 1	100.8	100.0
			外種	誢	微黄色澄明	変化なし	変化なし	変化なし
	フィジオ 35 輸液	25℃ 散光下	рН		4. 99	5. 02	5.01	5.01
4			残存率	<i>1</i> -LV	100.0	99. 1	98. 7	97.1
			(%)	CPT-11	100.0	99. 9	101. 1	99. 7
	ラクテック注	25℃ 散光下	外観		微黄色澄明	変化なし	変化なし	変化なし
_			рН		6.00	5. 95	5. 93	5. 91
5			残存率	<i>1</i> –LV	100.0	99. 5	99. 9	99.8
			(%)	CPT-11	100.0	100. 2	100. 4	97. 2
	KN3 号輸液	3 号輸液 25℃ 散光下	外観		微黄色澄明	変化なし	変化なし	変化なし
6			рН	[	5. 48	5. 51	5. 50	5. 52
О			残存率	<i>1</i> –LV	100.0	100. 0	100. 1	99.8
			(%)	CPT-11	100.0	101. 0	100. 7	98. 3
			外種	見	微黄色澄明	変化なし	変化なし	変化なし
7	ヴィーン D	25℃ 散光下	рН		5. 40	5. 41	5.40	5.41
7	輸液		残存率	<i>1</i> –LV	100.0	99.4	99. 2	98.4
			(%)	CPT-11	100.0	100. 3	101. 0	98. 9
	ソルデム 3A 輸液	25℃ 散光下	外種	睍	微黄色澄明	変化なし	変化なし	変化なし
0			рН	[	5. 29	5. 30	5. 26	5. 35
8			残存率	<i>1</i> –LV	100.0	100. 3	99. 9	98. 7
			(%)	CPT-11	100.0	100. 7	100. 5	99. 3

<sup>\*3</sup> 試験項目のうち、pH、残存率は3検体の平均値を記載した。

#### 表3 ③エルプラット点滴静注液との配合変化試験

No. 配合薬剤名		保存	試験項目*3		採取時間			
NO.	条件		配合直後	4 時間	8 時間	24 時間		
2 大塚糖液 5%			外観		無色澄明	変化なし	変化なし	変化なし
	25℃ 散光下	25℃ pH		6. 52	6. 42	6. 44	6. 29	
		残存率	<i>1</i> –LV	100.0	99. 3	99. 0	95.8	
		(%)	L-OHP	100.0	98. 5	97. 9	94. 1	

<sup>\*3</sup> 試験項目のうち、pH、残存率は3検体の平均値を記載した。